

とげなし水ナス新品種「かな紫」について

1 品種育成のねらい

当所では、本県の農業発展のために県オリジナル品種の育成に取り組んでいる。ナス品種については、ジューシーで変色が少ない「サラダ紫」を育成し、平成21年3月に品種登録され、横須賀市では「よこすか水ナス」の名称でかながわブランドに登録されている。生産現場からとげなしで特徴のある果形の新品種の育成が求められていたことから、とげがなく、果形が安定したジューシーなナスの育成を目指した。

2 育成の経緯

- 平成26年度から「サラダ紫」の親系統と市販品種を交配し、その蒴（やく、雄しべの先にある花粉のある器官）から半数体を作成し、親系統を育成した。当所では初めて蒴培養から再生した植物体（倍加半数体）を用いて育成し（半数体育種法）、育成期間を大幅に短縮することができた。
- 平成28年度に「ES11×MS38」など12系統の交配（F₁）組み合わせを得た。
- 平成29年度から交配（F₁）系統のF₁組み合わせ検定を行い、「ES11×MS38」が有望であることを確認した。
- 令和3年度に現地栽培試験（横浜市、横須賀市、伊勢原市）を実施し、生産者から良好な評価を得た。
- 令和4年2月28日に種苗法に基づき、品種登録出願（出願番号第36037号）し、同年6月20日に品種登録出願公表された。

3 品種の特徴

- 葉や茎、へたにとげがない。
- 果実は倒卵形の巾着型で、果重は100～150g程度。
- 花おち跡が小さい。
- 空洞果が少なく、整形で収穫量が多い。
- 渋味の要因の1つと考えられる果肉の総ポリフェノール含量は、「サラダ紫」と同等。
- 果肉褐変の原因と考えられるPPO（ポリフェノールオキシターゼ）活性は、「サラダ紫」と同等。
- 浅漬けでの食味評価は、甘味やうまみの強さ、ジューシーさで高い評価。



図1 生育状況（6月）



図2 浅漬け